

H16「普及に移す成果」



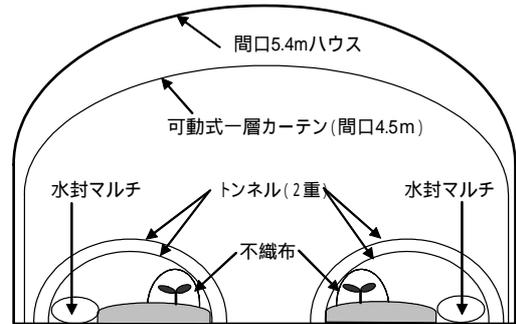
半促成メロンの4月収穫作型における可動式

一層カーテン設置による生育促進技術

農業総合センタ - 園芸研究所

1. 技術の要約

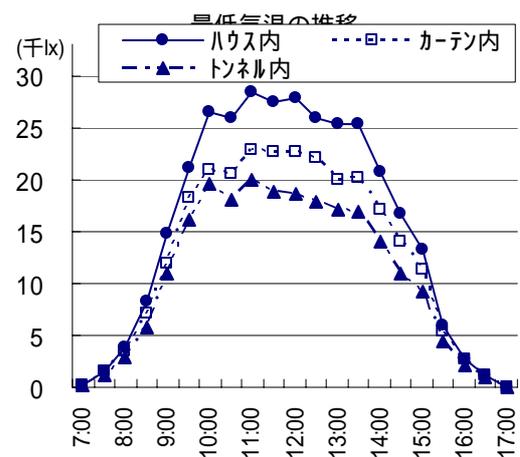
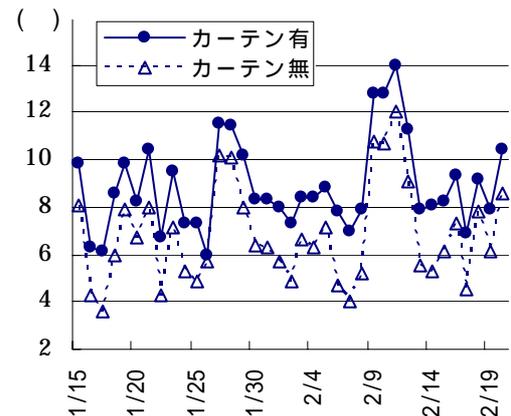
半促成メロンの4月収穫作型において、可動式一層カーテンを設置すると最低気温が約2℃高まる。その結果、初期生育が良好で受粉開始が6日程度早まり、着果が安定し、果重も20~30%大きくなるなど、生育促進効果が極めて大きい。



4月種り栽培における保温装備

2. 成果の活用面・留意点

- 1) 地温確保のためには、ハウスのビニル展張をできるだけ早く済ませ、定植の20日前頃までにはベッド作りを行い、トンネル保温する。定植時の地温を18℃以上に高めることが、活着を良好にする目安である。
- 2) 可動式一層カーテンと2重トンネルや水封マルチとを組み合わせ、最低気温10℃以上を確保できる保温を行う。
- 3) 可動式一層カーテンを設置すると受光量が減少する恐れがあるので、日中はなるべくカーテンを開放して採光を図る。アーチ最上部付近まで巻き上げられることが望ましい。
- 4) 生育に伴ってトンネルを内側から除去していくが、果実肥大盛期までは最低気温12℃を目標に保温に努める必要がある。
- 5) 可動式一層カーテンにかかる年償却費は10aあたり131(資材の実用的耐用年数:10年)~163(資材の基準的耐用年数:5年)千円である。



照度の推移(12/22-23)

資材名	金額
資材(ア-パ°イ°, 外外等)	324,700円
被覆資材(ビニル, 0.075ミリ)	98,000円

< 問い合わせ先 ; 園芸研究所メロンチーム 電話 0299(45)8340 >